

## 2-2 世界初 次世代コミュニティサイクル DATE BIKE

仙台市交通政策課 岩淵 伸

### 仙台と自転車行政

仙台を初めて訪れた友人から、「仙台は放置自転車が少ないですね」「さすが杜<sup>もり</sup>の都ですね」という言葉を頂戴することがある。何気なく住み続けている私たちにはピンとこない言葉だったが、自転車行政について少し紹介したいと思う。

本市の自転車行政は、1987年にスタートした。全国的にも稀<sup>まれ</sup>であった、自転車附置義務条例を制定し民間と公の自転車駐車場整備の役割分担を明確化した。それと共に、良好な都市空間を創出するため、行政では都心に地下駐輪場を5か所整備した。

「学都仙台」といわれるように、仙台は京都について、学生が多い街でもあるため、自転車利用にとどまらずスクーターや大型バイクも学生の「足」として活躍している。そのため、地下駐輪場には、大型自動二輪まで駐輪可能な設備を設けていた。これは当時の財政制約条件の中であっても当時のスタッフの知恵と勇気をもった判断があったからこそ、ハード的な環境整備に至ったといえる。

### 震災と自転車

2011年3月11日、未曾有<sup>みぞう</sup>の東日本大震災やその後の余震により、仙台も大きなダメージを受けた。ガソリンなどのエネルギー供給が断絶したため、徒歩に続く移動手段がバスと自転車だった。

本市の地元自転車業者の話では、店から自転車が1台も無くなる状態が3回程度続いたと聞いた。

このような自転車を使って移動する状況が公共交通が復旧するまで続いた。

### 社会実験から本格実施に向けて

本市では震災の半年前に、コミュニティサイクルの本格導入を確かなものとするために、1か月間の社会実験を行った。

その結果は以下のとおりで、多くの方に利用いただき、本格実施に向けた期待も高いことがわかった。

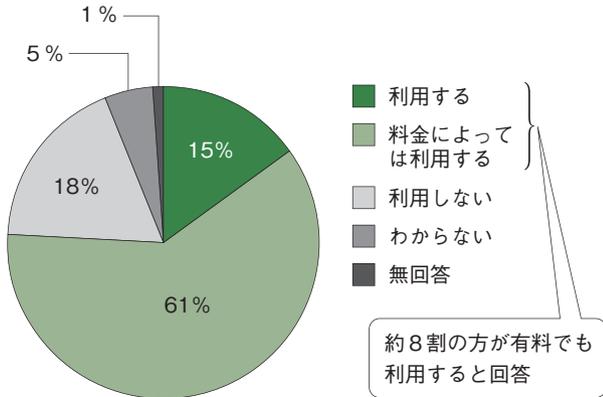


2010年社会実験の様子

2010年 社会実験の利用回数

述べ利用回数 (30日間の合計) 〈回〉	17,884
平日 (20日間)	13,115
休日 (10日間)	4,769
利用回数 (30日間の平均) 〈回/日〉	596.1
平日 (20日間)	655.8
休日 (10日間)	476.9
利用時間 (30日間の平均) 〈分/回〉	29
平日 (20日間)	27
休日 (10日間)	31
回転率 (30日間の平均) 〈回/台・日〉	5.96
平日 (20日間)	6.56
休日 (10日間)	4.77

2010年 社会実験の利用者アンケート調査



しかし、市民の利用意向は強いものの、本格実施に向けて以下の課題が残った。

- (1) 過大なイニシャルコスト
- (2) 過大なランニングコスト
- (3) 有料化した場合の低い利用率

**DATE BIKE (ダテ バイク)**

2012年7月に運営事業者を公募、その結果、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモをパートナーとして仙台の街を共に創っていくことにした。



DATEとは、ダテ、デートなどいろいろな呼び方があるが、主なイメージは以下のとおり。

- ・仙台藩主伊達政宗をイメージ
- ・伊達に乗りこなしてほしい
- ・デート = 1日中乗れる自転車 etc.

**仙台コミュニティサイクル (CC) モデル**

2010年の社会実験の課題解決や、民間活力を継続的に地域で生かしていただくための、民間と行政とのパートナーシップによる、仙台コミュニティサイクルモデルとして重点的に以下の4つの項目について取り組んでいる。

- ICTの積極的な活用**  
 従来型の機械式ラックを設置することなく、自転車単体でのオペレーションが可能、大幅なイニシャルコストとランニングコストの縮減  
ex. 将来的な事業拡大を容易に
- 付帯事業**  
 コミュニティサイクル事業に留まらず、「自転車」を切り口に様々な事業を展開  
ex. 親子を対象に、自転車のルール・マナーの習得に寄り添った「ダテバイク キッズ・サイクル・スクール」の定期的な開催
- ALL仙台でのバックアップ**  
 仙台市と地域の協働で事業を支援  
ex. 伊達武蔵隊、むすび丸など共催事業、文化・スポーツ振興のための遊覧、商店街のプレゼント企画
- 復興支援**  
 利用料金の一部を東日本大震災の被災者の支援に還元

①ICTの積極的な活用とは

- ・自転車本体に、通信機能やGPS機能を搭載。
- ・自転車本体のみで運営できるため、従来よりも、駐輪スペースがコンパクトに設置が可能。また、駐輪場の柔軟な設置・再配置が可能。従来必要であった専用の駐輪場システムが不要なため導入コストが大幅に低減可能。

	従来システム	次世代システム
電動アシスト機能	無	有
外部電源工事	必要	不要
専用の駐輪場システム	必要	不要

ダテバイクは、通信機能+GPS=遠隔操作機能付きの電動アシスト自転車であるため、携帯端末さえあれば、登録、利用開始、返却ができる、いわば次世代のコミュニティサイクルと言える。このシステムは世界中どこにもなく、世界に先駆けて仙台から発進することとなった。



加えて電動アシストであるため、高齢者や女性にもやさしい乗り物となっている。

②付帯事業

単なる自転車の貸し借り事業ではなく、「自転車」をキーワードに、DATE Kids Cycle Schoolを定期的に開催することで、参加する子どもだけではなく、保護者も一緒に学んでいる。



補助輪ははずしとルールとマナーを学ぶ      むすび丸もダテバイクに乗って安全運転

③ALL仙台でのバックアップ

企業単独では取り組むことが難しい事業を行政がさまざまな面からサポートしている。



くの一と与六を先頭に地域の魅力再発見のためのツアーに出発

例) 地域の魅力再発見のため伊達武将隊との連携

#### ④復興支援

仮設住宅入居者の方を対象に、最初の60分を無料とするサービスを開始し、通院や買い物の足に使っていただくことにした。



奥山仙台市長も一緒に街を巡り自ら利用を呼びかけた

### まちづくりとDATE BIKEの融合

DATE BIKEはイニシャルコストが縮減でき、事業運営者と協力する側の街（企業・商店街）の双方が利益を得られるwin-winの関係性を秘めた街の一つのツールである。これをどう活用していくか、そ

れはわれわれ自治体職員が一丸となって、知恵を出し、汗を掻き、組織の垣根を越えて取り組む事業であると考えている。皆さんの街でも導入を考えてみてはいかがでしょうか。

新たな街づくりのヒントになることは確かだ。

### 最後に

東日本大震災においては、全国の皆さんにご支援をいただき、いまだ数多くの自治体の職員の派遣をいただきながら復興に取り組んでいる。東北の中核である仙台は、他の被災地よりも一日も早く復興することが命題であり、それが支援いただいている全国の自治体の皆さんへの恩返しと思っている。

仙台は七夕などイベントも盛りだくさんだ。ご存じのとおり、牛タン、冷やし中華など「食」も充実している。東京から、新幹線はやぶさ、はやて、こまちだと、約90分で仙台だ。

ぜひ、仙台へ、『おもてなしの心』でお待ちしている。

